



四万十町

町内ぶら〜い散策

影かげ

野の



そ

の昔は「陰野」と書いた。床鍋と下呉地の間にあり、現在は105世帯、201人が住む。

窪川の町から国道56号を久礼に向かって走る。高知道・四万十町東の出入り口の少し手前に、活禅寺窪川別院という禅寺がある。その隣に倒木防止の支柱に守られた、立派な榎の太木がある。樹齢300年以上というこの榎には「お雪榎」という名がついている。

江戸時代の初め、陰野村の新田開拓に尽力し、この地の地頭職の立場にあった池内嘉左衛門という人がいた。嘉左衛門には「お雪」という、それはそれは美しい娘がいた。このお雪が恋をした。相手は、村にあった西本寺といはんじ(西方寺)さいほうじという記述もある)の若い僧侶で「順安」じゅんあん」といった。当時は、僧侶に課せられた戒律は厳格で、妻帯は禁じられていたため、お雪と順安の恋は美らぬ恋となる運命にあった。誰もがそう思っていた。しかし、お雪の父・嘉左衛門は、どうやら「話の分かる柔軟な男」であつたらしい。なんと嘉左衛門は、この恋を禁じるのではなく、成就させるために、順安に僧侶をやめ(還俗げんぞく)させて、自分の跡取りにすることを決断したのであった。

人とも、父である初代・嘉左衛門の仕事に忠実に継承し、更なる新田開拓に励んだ。村人からの信頼も厚く、夫婦揃って愛された。彼らには子どもがなかったため、夫婦の没後、村人たちが供養につとめた。村人たちは、生前お雪が好きだった榎の木を、二人のお墓の隣に植樹した。それがこの「お雪榎」である。



お雪榎。恋の成就祈願にご利益があるかもしれませんよ

町のうごき

(6月30日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,211	-7	男 7	9	10	15
女	9,148	-14	女 1	12	11	14
計	17,359	-21	計 8	21	21	29
世帯数	8,570	-12	(6月中の届出)			

窪川地域 12,272人 大正地域 2,435人 十和地域 2,652人

四万十川の水質状況

	適正值(mg/l)	7月14日
リン酸	≤ 1.0	測定範囲以下
硝酸	≤ 0.5	1.457
アンモニウム	≤ 5.0	測定範囲以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.10
化学的酸素要求量	≤ 10.0	測定範囲以下

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部

四万十町通信

2018.8月号

Vol.149 (毎月10日発行)

●発行／四万十町企画課

●印刷／窪川印刷

〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17

☎ (0880) 22-3124

FAX (0880) 22-3123

UD FONT
by MORISAWA

本文など内容の一部に見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。